

令和4年安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰



令和4年10月12日 於：首相官邸

令和4年安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰

受賞者名簿

(個人、団体の順に五十音順)

【防犯活動】

- |   |                              |         |
|---|------------------------------|---------|
| 1 | 朝日大学法学部生による自主防犯ボランティア団体「めぐる」 | (岐阜県警察) |
| 2 | 泉大津警察署管内防犯協議会直轄婦人部(SAF)      | (大阪府警察) |
| 3 | 五日市中央学区防犯協力会                 | (広島県警察) |
| 4 | 株式会社岸本組防犯パトロール隊              | (北海道警察) |
| 5 | 特定非営利活動法人シニア情報生活アドバイザー佐賀     | (佐賀県警察) |
| 6 | 所沢市防犯協会小手指支部                 | (埼玉県警察) |
| 7 | 富士見が丘自主防犯パトロール隊              | (大分県警察) |
| 8 | 馬込セーフティーパートロール隊              | (警視庁)   |

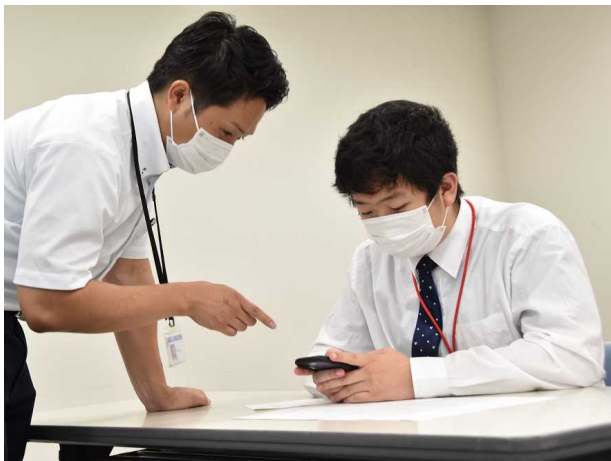
【再犯の防止等に関する活動】

- |   |                       |            |
|---|-----------------------|------------|
| 1 | 石井隆                   | (札幌地方検察庁)  |
| 2 | 平川吉晴                  | (福岡県警察)    |
| 3 | 静岡県更生保護女性連盟           | (静岡保護観察所)  |
| 4 | 島根県立松江工業高等学校JRC部      | (松江保護観察所)  |
| 5 | 特定非営利活動法人愛知県就労支援事業者機構 | (名古屋保護観察所) |
| 6 | 松本少年刑務所少年母の会          | (法務省矯正局)   |
| 7 | 山梨ダルク                 | (甲府保護観察所)  |
| 8 | P a i x <sup>2</sup>  | (法務省矯正局)   |

※括弧内は推薦団体

## 功 績 概 要

推 薦 者	岐阜県警察
団 体 名	朝日大学法学部生による自主防犯ボランティア団体「めぐる」
所 在 地	岐阜県瑞穂市
代 表 者	島田 悠生
功 績 の 概 要	<p>平成16年、大学の刑事法のゼミ生が中心となって設立。設立以降、長年に渡って、散歩レンジャーと名付けた大学周辺のパトロールを実施、その際に路上のゴミ拾いなどの環境美化活動や、危険場所の確認を行うとともに、瑞穂市役所と合同で、全7小学校区の見回り活動を実施。</p> <p>これら街頭における活動に加えて、サイバーパトロールを毎月100件を目標として行い、違法情報を発見した際は通報機関に通報している。</p> <p>さらに、保育園や小学校において、子供が犯罪に巻き込まれないためのダッシュ訓練、大声で叫ぶ訓練等の参加・体験型・実践型の防犯教室を行うとともに、安全・安心マップ作りを行うなど、その内容は多岐に渡る。</p> <p>これらの活動は「割れ窓理論」や「ホットスポットパトロール」等の法学部独自の視点を持って行われている。</p> <p>ボランティア構成員の高齢化という全国的な課題を抱える中「めぐる」の活動は、大学生という若い世代と、地域のボランティア活動を推進している現役世代を結ぶ架け橋となっており、防犯的にも人材的にも地域に大きく貢献。</p>



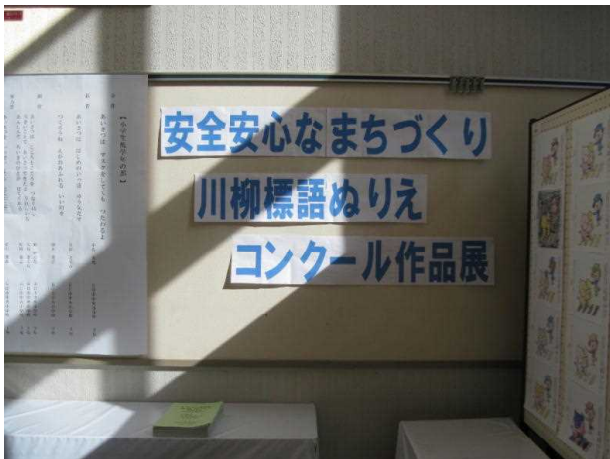
## 功 績 概 要

推 薦 者	大阪府警察
団 体 名	泉大津警察署管内防犯協議会直轄婦人部（S A F）
所 在 地	大阪府泉大津市
代 表 者	小出水 啓子
功 績 の 概 要	<p>平成7年、「地域の安全・安心のために迅速に対応する」ことを目的とし、防犯委員会等に所属する女性により結成。</p> <p>毎月11日、商業施設や駅等において、特殊詐欺やひったくり防止に係る啓発活動を実施、隔月15日の年金支給日に金融機関前等において、オリジナルの法被を着て啓発品を配布するキャンペーンを実施する。</p> <p>また、不定期に高齢者宅を訪問し、被害防止標語の入った通帳ケースを配布する、年10回程度、高齢者施設、公民館での料理教室等に出向き、特殊詐欺被害防止をテーマとした寸劇やひったくり場面の実演を行うなどの出前型の防犯教室を実施。</p> <p>広報啓発の方法も結成当初は、啓発品の配布活動が中心であったが、ひったくりの撲滅や特殊詐欺の撲滅を目的とした独自の振り付けによる「よさこい鳴子踊り」を考案し、キャンペーンの会場や防犯大会で披露するなど、より広報効果の上がる啓発活動を目指した活動を継続し、大きな反響を得ている。</p> <p>長年に渡って地域の実情に応じた効果的な活動を継続し、安全・安心なまちづくりに大きく寄与。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	広島県警察
団 体 名	五日市中央学区防犯協力会
所 在 地	広島県広島市
代 表 者	石田 邦夫
功 績 の 概 要	<p>平成13年、県内の刑法犯認知件数が戦後最多となり、窃盗や器物損壊事件が多発したことから、現会長を中心に「自分たちのまちは自分たちで守ろう」を合い言葉に設立。</p> <p>設立以降、ほぼ毎日、登校時間帯における立哨、見守り活動を実施するとともに、月3回、夜間帯における徒歩パトロールを実施、他団体との積極的な情報発信や合同パトロールを実施するとともに、学校、教育委員会、行政と連携し、定期的に通学路の合同点検を実施。</p> <p>また、特殊詐欺の被害防止に係る防犯講習会を開催した際は、県警防犯アプリの活用促進に係る広報啓発を行う活動を展開するとともに、平成13年から防犯川柳コンクールを主催し、全国の幅広い世代から多数の応募が寄せられるなど、大きな広報効果をあげている。</p> <p>同団体は、町内会を基盤として発足した防犯団体で、子供の見守りや防犯パトロールのみならず、地域住民の自主防犯意識の高揚を図る活動に長年に亘って取り組んでおり、地域住民同士のつながりや安心感の醸成に大きく寄与し、その貢献は計り知れない。</p>





## 功 績 概 要

推 薦 者	北海道警察
団 体 名	株式会社岸本組防犯パトロール隊
所 在 地	北海道美唄市
代 表 者	岸本 友宏
功 績 の 概 要	<p>平成20年、株式会社岸本組の社員により結成。</p> <p>設立以降、不定期に青色防犯パトロール車により、市内のパトロールを実施、月に概ね2回、通学時間帯に付近小学校通学路に立ち、児童の見守り活動を行う。</p> <p>また、毎年、市内小学校の新入学児童へ防犯ブザーを寄贈するとともに、安全教室や防災訓練を主体となって開催している。</p> <p>さらに、自社土木工事現場事務所を防犯サポートハウス（子供110番の家）とし、子供の一時避難場所として開放している。</p> <p>これらの活動は、学生等多くの地域住民が参加し、地域の連携強化・少年の居場所づくりにも貢献している。</p> <p>常に「企業として地域に貢献できることは出来ないか」との視点を持ち、地域の問題点を早期に発見し解決する観察力・実行力が非常に優れており、また、行政や地域住民を積極的に巻き込み、それまで無関心であった住民もボランティア活動への参加に導くなど、地域波及性も大きい。</p> <p>同団体の活動は、同地域の犯罪の減少に大きく寄与しているばかりか、地域の絆を強めることにも貢献しており、他の団体の模範となっている。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	佐賀県警察
団 体 名	特定非営利活動法人シニア情報生活アドバイザー佐賀
所 在 地	佐賀県佐賀市
代 表 者	久野 美津代
功 績 の 概 要	<p>平成23年、シニアによるICT利活用を積極的に推進するため、県主催でシニア情報生活アドバイザー認定資格に向けた養成講座を開催したところ、17人が認定され、これを機に認定者資格者同士の連携を深め、その活動の場を広げることを目的に本団体を設立。</p> <p>防犯講習の場において、地域住民からの要望により「サイバー犯罪の実態や危険性の周知、被害防止のための教育」、「サイバー犯罪の被害防止及び情報セキュリティに関する広報」を実施、令和3年度までに約120回、1200人以上が受講する。</p> <p>平成27年に警察から、サイバー空間の安全利用等に関する広報啓発活動を行っている団体の中において、特に優れた知見を有する者として「特定サイバー防犯ボランティア」の委嘱を受け、サイバー犯罪被害防止の広報を実施している。</p> <p>サイバー空間の被害防止に対する熱意や関心が高い当団体による活動は、多くのシニアの安全安心なインターネット利用につながるものであり、活動実績も非常に高く、全国のサイバー防犯ボランティア団体の模範となっている。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	埼玉県警察
団 体 名	所沢市防犯協会小手指支部
所 在 地	埼玉県所沢市
代 表 者	大津 裕
功 績 の 概 要	<p>昭和52年、所沢市防犯協会の下部組織の一つとして設立、現在は72町会から成り立つ。</p> <p>設立以降、45年の長きに亘って、ほぼ毎日、4小学校区において登下校時における立哨・付き添い活動を実施し、併せて週に2回、下校時間から夜間にかけて、青色防犯パトロールを実施。</p> <p>また、毎年、夏季休暇・年末前に、関係機関と連携して、少年の非行防止及び犯罪被害防止を目的とした一斉防犯パトロールを実施するとともに、年に6回程度、西部鉄道小手指駅等における特殊詐欺被害防止キャンペーンや年末年始特別警戒出陣式に参加している。</p> <p>さらに、特殊詐欺が多発する昨今においては、警察からの要望に応じ、青色防犯パトロール車による広報活動を実施しているほか、警察・自治体と協力し、「ひばりさえずり訪問隊」の名称で高齢者宅を訪問し、特殊詐欺被害防止の啓発や防犯情報の提供を行っている。</p> <p>活動を開始して以来、警察や防犯協会、多くの地域活動団体と連携し、青色防犯パトロール等の防犯活動を積極的に展開しており、地域を守ろうとする意欲は高く、他の団体の模範となっている。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	大分県警察
団 体 名	富士見が丘自主防犯パトロール隊
所 在 地	大分県大分市
代 表 者	中浦 力
功 績 の 概 要	<p>平成15年、地域住民の力で多発している犯罪を抑止するため、連合自治会メンバーにより組織を結成。</p> <p>設立以降、月に4回程度、通学路において立哨活動、週に4回程度、夜間におけるパトロール活動と青色防犯パトロール車による防犯パトロール活動を実施。</p> <p>また隔月年金支給日に、金融機関・A T M前に立ち、利用者に特殊詐欺被害防止の呼びかけを実施するとともに、年3回程度、自作の台本による防犯寸劇を敬老会や公民館サークルにおいて披露し、特殊詐欺の被害防止啓発を行う。</p> <p>さらに、防犯カメラ購入補助事業につき、地区自治体へ積極的に設置を働き掛け、実現に至る。</p> <p>同団体は、通常行っている防犯活動を続けながらも、時勢にあわせて特殊詐欺の被害防止を目的としたA T M警戒や防犯寸劇を実施するなど、創意工夫をこらした活動を行っている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響で自粛を余儀なくされる中でも、継続的に地区の広報誌に防犯記事を掲載して地区の防犯意識の向上に努めるなど、総合的な防犯活動の活性化にも大きく貢献。</p>





## 功 績 概 要

推 薦 者	警視庁
団 体 名	馬込セーフティパトロール隊
所 在 地	東京都大田区
代 表 者	加藤 富保
功 績 の 概 要	<p>平成17年、馬込地区内の町会・自治会が、町会単位で行っていた防犯活動を強化することを目的として発足。</p> <p>設立以降、週3回、登下校時間帯における立哨・見守り活動を実施、また、ほぼ毎日、小・中学校の登校時間帯における青色防犯パトロール活動を実施するとともに、週2回程度、環境美化を目的としたパトロールを実施、あわせて、隊員の所有する車両等に「防犯活動強化中」等のステッカーを貼付した「ながら見守り」を実施。</p> <p>また、令和元年から、子供見守り活動の一環として「馬込子まもり食堂」を運営するとともに、地道な子供の見守りを活動を中心としながらも、地域のイベントや祭祀においては各種防犯広報啓発活動を積極的に推進するなど、安全安心なまちづくりにつながる活動に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>さらに、防犯カメラの設置に関しては自治体と連携する、防犯講習会においては警察と連携を密にするといった、関係機関とタイアップを図った活動を展開するなど、その総合的で多角的な防犯活動は他の団体の模範となるものである。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	法務省（札幌地方検察庁）
氏 名	石井 隆
職 業	団体職員
功 績 の 概 要	<p>昭和50年4月から現在に至るまで福祉関係事業に携わり、平成24年4月以降は、北海道地域生活定着支援札幌センター所長や北海道地域生活定着支援センター統括コーディネーターとして、札幌地方検察庁と札幌保護観察所が連携して行っている入口支援や矯正施設から出所する特別調整対象者に対する出口支援に尽力するほか、矯正施設における特別改善指導講師として、受刑者に対する指導にも従事。</p> <p>また、北海道再犯防止推進会議委員や発達障害児者地域生活支援モデル事業企画・推進委員会委員などの各種委員も歴任。</p> <p>さらに、平成25年12月に札幌地方検察庁に社会復帰支援室（現在の刑事政策推進室）が設置されて以降、同庁に対して、社会福祉士アドバイザーの立場から無償で多数の助言をし、同庁の社会復帰支援業務に貢献。</p> <p>福祉的支援が必要な犯罪をした者等に対し、刑事司法の入口から出口に至る全ての段階で支援を実施することで、地域社会における再犯防止活動に貢献し、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	警察庁（福岡県警察）
氏 名	平川 吉晴
職 業	自営業
功 績 の 概 要	<p>平成2年4月に、旧・西警察署（現：早良警察署）少年補導員として委嘱を受け、平成12年から少年補導員連絡会支部長、平成19年から同副会長、平成22年から同会長を歴任。</p> <p>少年の立ち直り支援活動として、「ハッピー農園」でのさつまいもの苗植え・収穫体験や博多人形の絵付け体験、自宅での餅つき大会を行っているほか、関係機関と連携して、登下校見守り活動や街頭補導活動、地域の祭り等でのパトロール等を実施。</p> <p>また、少年補導員としての活動以外にも、早良区防犯協会常任理事として、管内の主要駅や商業施設等において、自転車の盗難防止や性被害防止等に関する啓発チラシ等の配布を行っているほか、早良暴力団等排除推進協議会特別顧問として、立ち直り支援活動で関わった少年等に暴力団の危険性や加入防止の呼び掛け等を実施。</p> <p>長年にわたり、多岐にわたって、少年の再非行防止や健全育成のために活動することで、安全安心な地域社会の実現に貢献。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	法務省（静岡保護観察所）
団 体 名	静岡県更生保護女性連盟
所 在 地	静岡県静岡市
代 表 者	堀 靖代
功 績 の 概 要	<p>昭和38年に、静岡県更生保護婦人会連盟として発足して以降、更生保護施設での食事づくりや清掃活動、同施設への運営資金等の寄付や食料の提供、矯正施設での誕生日会を始めとする各種行事の企画等を実施。</p> <p>平成27年から、静岡県教育委員会と連携し、“社会を明るくする運動”の一環として、県内の高校生に対して、命や家庭の大切さを考えさせる「冠講座」を実施しており（令和3年度は県下9校で実施、同年末で通算実施回数は61回、通算実施校数は34校）、次世代を担う青少年の健全育成という観点から、再犯防止に貢献。同講座を開催した高等学校の教師からは、講座実施後、生徒の態度や考え方が変わってきた等の意見が寄せられ、そうしたことが地元新聞にも取り上げられるなど、更生保護事業への理解と関心を得ることも大きく貢献。</p> <p>上記活動以外にも地域の環境浄化活動など様々な活動を実施しており、長年にわたり、地域の安全安心に寄与。</p>





## 功 績 概 要

推 薦 者	法務省（松江保護観察所）
団 体 名	島根県立松江工業高等学校 J R C 部
所 在 地	島根県松江市
代 表 者	光田 雅哉
功 績 の 概 要	<p>昭和30年代後半に奉仕活動を行う生徒の集まりとしてスタートし、昭和40年代からは松江工業高等学校 J R C（青少年赤十字）同好会として活動。</p> <p>平成17年に同校生徒会傘下の正式な部となって以降、学校内外で募金活動等のボランティア活動を実施しており、平成29年以降、同校の実習で使用した卒業生の作業着を回収、コインランドリーでの洗濯、補修、サイズごとの仕分け、梱包作業を行った上で、更生保護施設（※）へ寄付する取組を実施。</p> <p>本取組について、同施設の利用者からは「若者が理解をして支援をしてくれていることがうれしく、勇気もらった」「背中を押されて、しっかりしなければと思った」といった声が寄せられ、その再犯防止の力強い後押しになっていることに加え、これまで再犯防止について考える機会が少なかった同校の生徒、その保護者、本取組を新聞報道等で知った地域住民等の再犯防止に対する理解を大きく促進させることにも貢献しており、安全安心なまちづくりの推進に寄与。</p> <p>※ 刑務所出所者等のうち頼るべき人がいないなどの理由で、帰るべき場所がない人たちに対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	法務省（名古屋保護観察所）
団 体 名	特定非営利活動法人愛知県就労支援事業者機構
所 在 地	愛知県名古屋市
代 表 者	廣瀬 吉宏
功 績 の 概 要	<p>平成22年、県内経済界の幅広い理解と協力を得て、民間の立場から、刑務所出所者等の就労を支援すること等を目的に設立。</p> <p>平成24年度から、法務省の更生保護就労支援事業を受託し、毎年120人前後の刑務所出所者等の就労と就労後の職場定着を継続的に支援。その結果、これまで刑務所出所者等の約6割が3か月未満で離職していたところ、これを約2割5分まで減少。</p> <p>また、令和2年度からは、更生保護法人日本更生保護協会による、休眠預金を活用した助成事業を受託して、保護観察期間を終了した者等への就職活動支援等を行うほか、令和3年度からは、愛知県から事業を受託して、満期釈放者や保護観察期間を終了した者等、刑事司法手続を終えた者に対し、国による支援を引き継ぐかたちで職場定着支援を実施。</p> <p>刑事司法手続の枠組みを超えて、シームレスな就労支援を実施することで、刑務所出所者等の円滑な社会復帰及び再犯防止に寄与。関係者からの信頼は厚く、実績も顕著。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	法務省（矯正局）
団 体 名	松本少年刑務所少年母の会
所 在 地	長野県松本市
代 表 者	近藤 美枝子
功 績 の 概 要	<p>昭和29年7月、松本少年刑務所長の協力要請により、青年受刑者の激励及び援助活動を行うことを目的として、同活動に賛同した地域住民等により発足し、現在も、同刑務所の受刑者の再犯防止のために活動。</p> <p>同刑務所が行っている改善指導の1つである文通プログラムにおいて、受刑者との文通を通じ、受刑者の出所後の生活等の相談に対する助言を実施しているほか、教科指導（社会生活の基礎となる学力を身に付けさせる指導）に使用する教材の寄贈や、受刑生活に対する目標を持たせるため、善行が認められた受刑者に対する賞品等を提供することなど、長年にわたり、同刑務所の受刑者の改善更生のため、物心両面にわたる直接的な支援及び援助を継続して実施。</p> <p>同会による母親的な役割を担う活動は、同刑務所が受刑者に対して行う矯正処遇を一層円滑にする潤滑油的な効果を生んでおり、受刑者の再犯防止に大きく貢献。</p>



## 功 績 概 要

推 薦 者	法務省（甲府保護観察所）
団 体 名	山梨ダルク
所 在 地	山梨県甲府市
代 表 者	佐々木 広、内田 幸雄
功 績 の 概 要	<p>平成20年2月、山梨県甲府市で活動を開始。</p> <p>薬物やアルコール依存及び依存からの回復を経験した当事者が、地方公共団体、医療関係者、司法機関などの専門機関、地域の団体や住民と連携を図りながら、違法薬物等を使用した者に対し、ミーティング（参加者がそれぞれの体験を語り合い、薬物に依存していたこれまでの生き方を見つめ直すもの）、NA等の自助グループへの参加、ボランティア活動、スポーツプログラム、癒しプログラム（仏画制作、映画鑑賞、レクリエーション）などを提供して回復支援を実施。</p> <p>特筆すべきは、活動に共感する市民の協力を得て運営がなされている点。清掃活動を始めとする地域における社会貢献に積極的に取り組むことにより市民の理解を獲得。このような地域との共生を通じ、地域の理解を得ながら依存からの回復を支援する取組は、「山梨モデル」と呼ばれ、他の模範。</p> <p>上記の取組を通じて、地域から孤立しがちな薬物依存者を孤立させないばかりか、社会貢献に取り組むことで得られる自己肯定感を醸成させることを通じ、その再犯防止に貢献しているほか、地域住民に対する再犯防止への理解促進にも貢献。</p>





## 功 績 概 要

推 薦 者	法務省（矯正局）
団 体 名	P a i x <sup>2</sup>
所 在 地	東京都千代田区
代 表 者	井勝 めぐみ、北尾 真奈美
功 績 の 概 要	<p>平成12年、鳥取刑務所で「プリズンコンサート」を開始して以降、現在までの22年間、全国の矯正施設を慰問。受刑者等に対して、歌唱の提供と社会復帰に向けた激励メッセージの発信を継続。</p> <p>平成19年、矯正施設内に初めて地域住民を招いて同コンサートを開催するなど、矯正施設や再犯防止に関する地域住民の理解促進にも貢献。</p> <p>令和2年以降、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため施設訪問を控えざるを得ない状況にあるものの、令和4年6月現在の同コンサート通算回数は504回に上る。</p> <p>平成27年4月からは法務省矯正支援官としても、受刑者等の再犯防止に向けたメッセージを積極的に発信し、改善更生への動機付けや社会復帰への決意の醸成に寄与しており、長期間にわたり安全安心なまちづくりの推進に貢献。</p>

